

ようじえんだより 2018年度8月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

8月主題『交わる』

主題聖句：安心しなさい。わたした。恐れることはない。

マルコによる福音書6章50節

☆ 0～2歳児：神さまや家族に愛されていることを知り、喜ぶ。夏の生活の中で健康に過ごす。家族や保育者とゆったりとした時間を過ごす。

☆ 3～5歳児：私たちの平和な日々を感謝し、神さまの望まれる平和の大切さを共に考え、祈る。家族や保育者とゆったりと夏の生活を送る。いろいろな人と出会って楽しい経験をする。

平和とは「安心」が保障されること

8月は平和に思いを馳せる時です。73年前に人類史上初めて原子爆弾の被害を受け、「敗戦」という現実を突き付けられ、戦争の悲惨さを体験した我が国ですが、最近では「8月に平和に思いを馳せることは特にない」という方もいらっしゃると思います。私自身は広島出身で被爆者の子孫ですが、「8月だからといって…」という方に「意識が足りない」とか「平和ボケ」という気持ちは抱きません。なぜなら「戦争」というのは、国同士の武器を使った戦いだけに限定されないのではないかと、思うからです。経済状況や人間関係などで「その日生き延びるだけで精一杯」という人は、現代でも少なからずいらっしゃるはず。そのような人たちにとっては毎日が「戦時下」であろうと想像します。そう思うと、平和とは、武器を用いた戦いがない状態というよりは、「安心」して毎日過ごすことが保障されている状態、とも言えると思います。

まずは安心できる関係作りから

私には中学1年生の娘がいますが、幼い頃

から本当に怖がりでした。初めての場所にもなかなか慣れず、家族以外の人への警戒心が人一倍強い子でした。愛想のない娘に「男は度胸、女は愛嬌」と口走ったこともありました。

子どもの母子分離の段階を考える時、「フィーリング・オブ・セキュリティ(安全感)」と「スペース・オブ・セキュリティ(安全空間)」という概念が大切になります。子どもは母親など特定の親密な人との関係を通して自分が安全だと感じられる感覚(安全感)を獲得すると、自分がここにいるだけでも安全だと感じる空間(安全空間)が徐々に広がってきます。つまりまず家族の方や保育園の先生などから「ここにいるよ」「大丈夫だよ」というまなざしから安心を得て、だんだんと成長していくのです。

実は私も非常に憶病でオドオドした子どもだったことを思い出します。そんな私が人前で話すことの多い職業に就くのとから人生はやってみなければわかりません。娘も転校という経験を通してかえってたくましく成長したように感じます。安心できる関係は言い換えると絆と言えるかもしれません。平和の根底には絆が

年間主題『イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～』

主題聖句：愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。

新約聖書 ヨハネの手紙I 4章11節

あるのだと思います。
愛策

園長:久保田